

「地域」って...?



「地域」という言葉は、使われる場面によって、それが指している場所の範囲がちがいます。

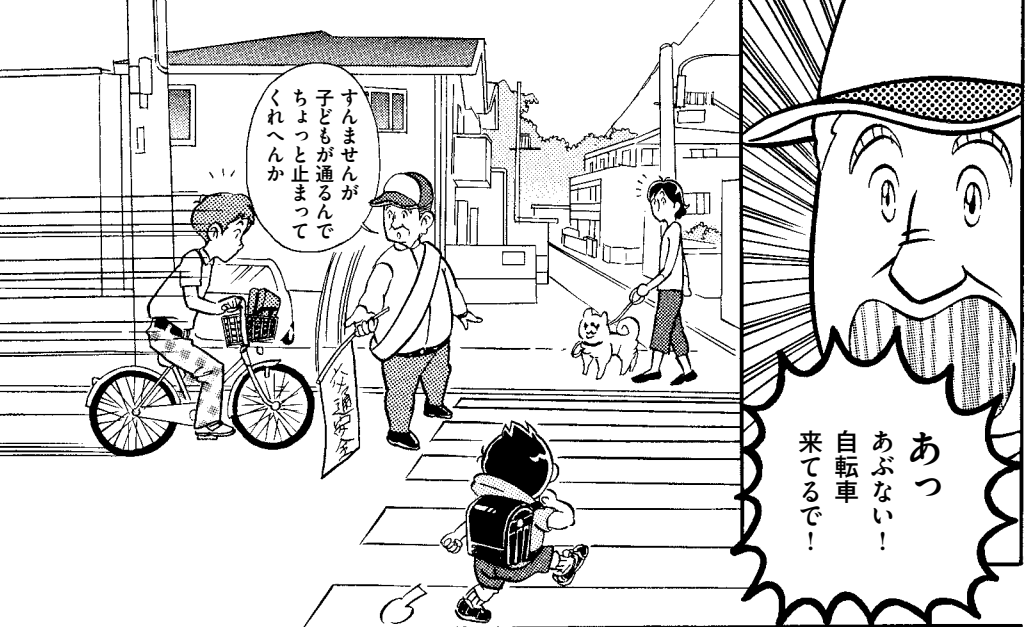
みなさんにこの冊子を読んで考えてほしいのは、みなさんがくらしている家のご近所、それから学校の通学区域くらいまでの広さの「地域」です。

このくらいの広さの「地域」の中で、たくさんの住民の方が、それぞれ協力し合いながら、子どもを交通事故から守るための見守り、みんなが楽しめるお祭り、万が一の災害に備えた防災訓練など、「地域」のためにいろいろな活動をしていきます。

この冊子は、みなさんに「地域」の住民の方が取り組んでいる活動を知ってもらうため、そして、それらの活動を通じて「地域」のみんなが仲良くすることの大切さを考えてもらうためにつくったものです。

この冊子を家に持ち帰って、家族の方にも読んでもらって、「地域」のことについて、みんなで話し合ってみてください。



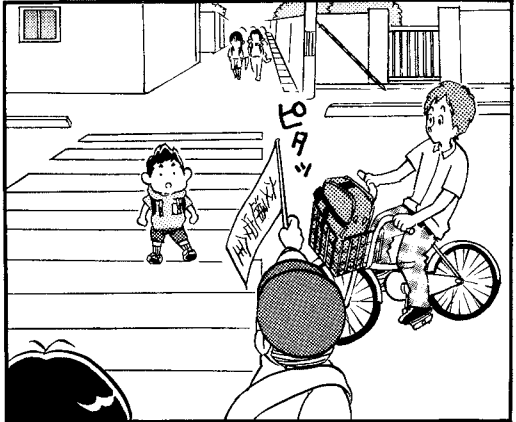


すみませんが
子どもが通るんで
ちよっと止まって
くれへんか

あつ
あぶない!
自転車
来てるで!



こどもの
通学中やから
気をつけて
走ってや!



おはよう



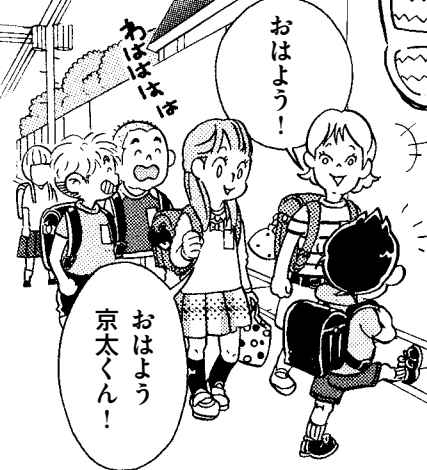
気をつけてね
いってらっしゃい!!!

おじさん
ありがとう
いってきまーす!



気を
つけてな!

いってきまーす!



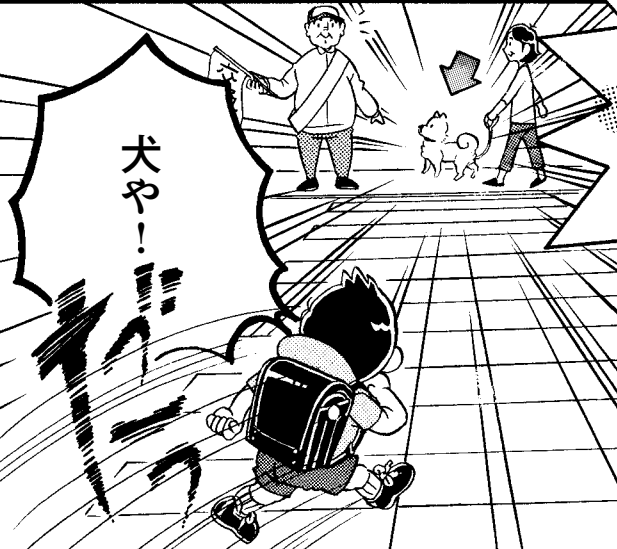
おはよう!

おはよう
京太くん!

おはよう
京太くん!

きた
京太くん
やんちゃな
小学3年生

あつ



犬や!

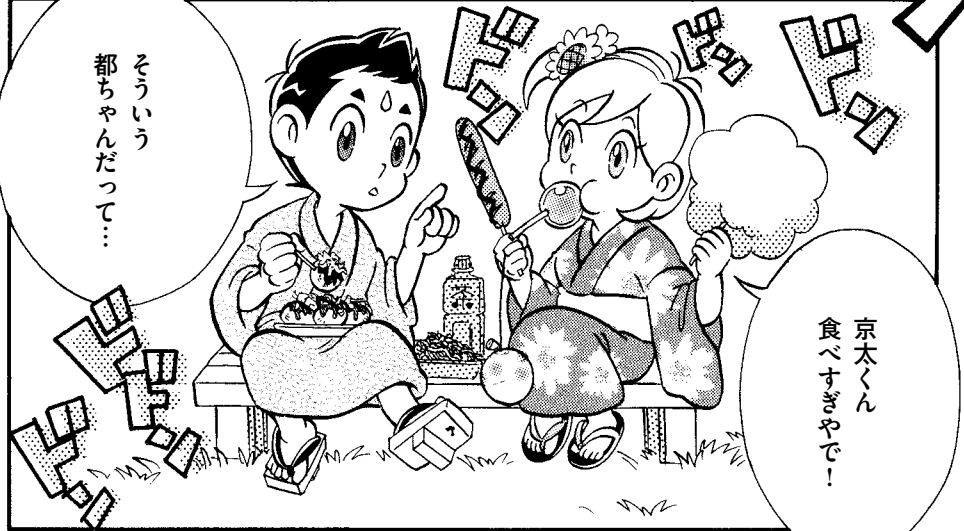


たこ焼き
楽しみや!

食いしんぼうやなあ
私はわたアメ食べよっと!

お祭りって
楽しいな!!

ホカ
ホカ



そういう
都ちゃんだって...

京太くん
食べすぎやで!



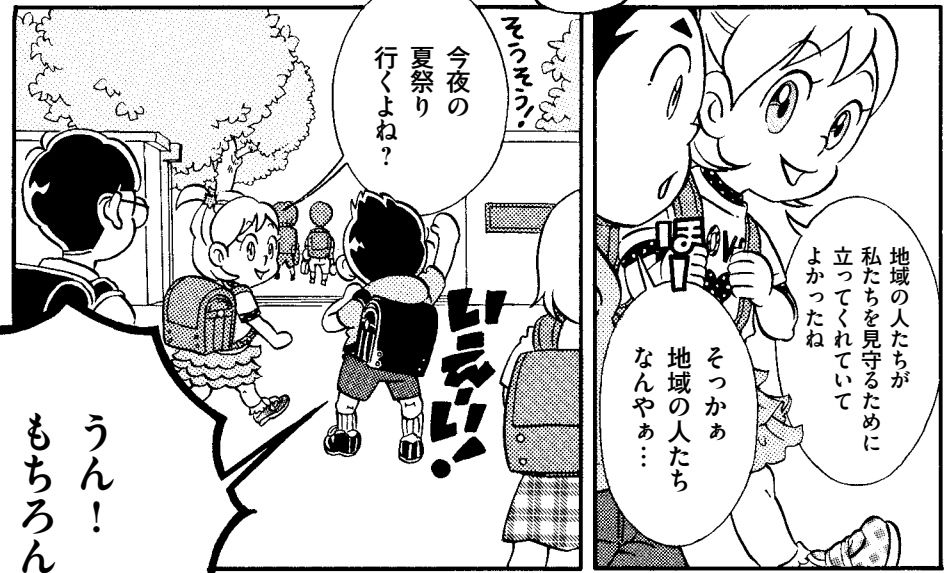
...うん...
おじさんたちの
おかげで
助かったわ

さっ!

京太くん
犬ばかり
見たら
あぶないやん!

みど
都ちゃん
ものおじしない
小学3年生

ホンマやぞー!



そつもん!
今夜の
夏祭り
行くよね?

そつかあ
地域の人たち
なんやあ:

地域の人たちが
私たちを見守るために
立ってくれていて
よかったね

うん!
もちろん!!



こどもの見守りとか
このお祭りとか
いろんなことを
してるみたいだよ

自治会

お母さんが言ってたけど
自治会っていうのがあって
地域の人たちは
そこで話しあって



それは…
いいことが…
いっぱいあるん
やろなあ

地域みんなが
なかよくなるん
どうなるん？



このお祭りって
この地域の人たちが
みんなで準備
してるねんで

なに
言ってるの…

もうなんや
みんなお祭りに
みんなお祭りに
おいしーもの
食べたいよ

お祭りで
知りあいになって
地域みんな
なかよしくなって
ことやろ

うちの
お母さんも
参加してるねん

そうや
この間通学路に
立ってくれたた
おじさんもそうやけど
地域の人たちって
だれのこと？

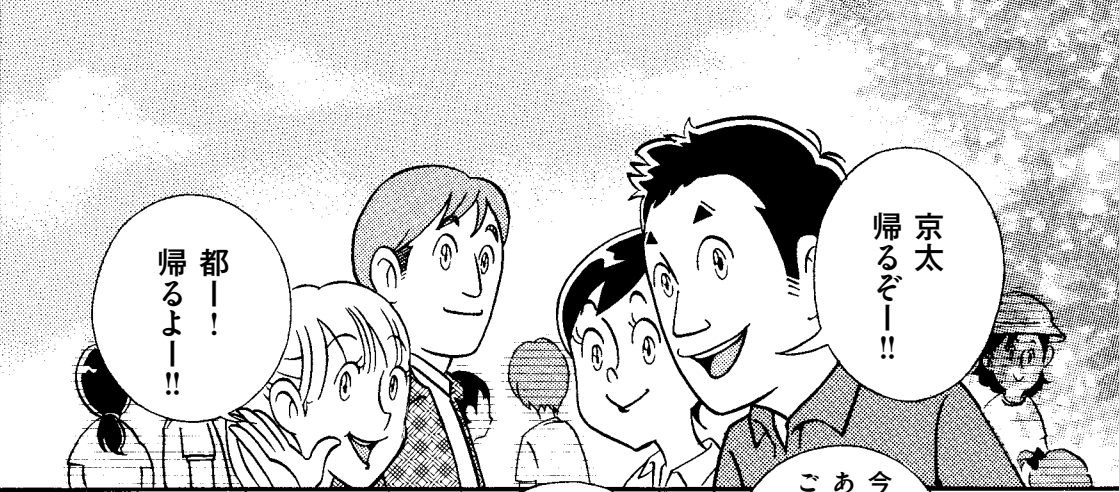


私たちが学校に行くときも地域の人たちが見守ってくれてたもんね

そうなること
事故や犯罪だって
おきにくくなるし

地域の中がみんな知りあい
なかよしばかり
だったら
それだけ安心して
安全にくらせるやろ？

ふたりとも
ご近所の人に
あいさつしてる？



京太
帰るぞー!!

都ー!!
帰るよー!!



お母さん
地域のみんな
助けあうこと
大事なんやね

そうよ!



今日は
ありがとう
ございました

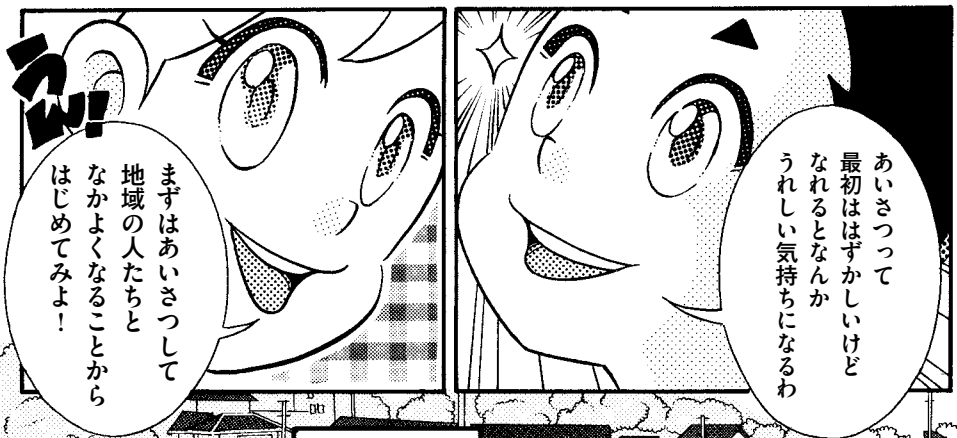
今後とも
よろしく
おねがいします

気をつけて
帰ってくださいね



京太だって
知らない人より
知っている
人のほうが
「助けて」
って言い
やすいやろ？

うん!!



保護者の皆様へ

阪神・淡路大震災で、がれきの下から助け出された方たち、およそ8割の方が、家族や近所の住民などによって助け出されたそうです。地域によってはり割を超えていたところもありました。また、東日本大震災においても、地域の絆の大切さが改めて見つめ直されています。

そのような非常時に限らず、日頃から地域の中で見守り合い、支え合うことは、核家族や共働き世帯が増えている昨今、子どものいるご家庭においては特に重要です。

京都市では、自治会や町内会をはじめとする地域のつながりをしっかりと維持し、さらに強めていくため、平成24年4月に「京都市地域コミュニティ活性化推進条例」を施行し、地域住民のみなさんが支え合い、安心して快適に暮らせる「地域コミュニティ」の実現に向けた取組を進めています。

この冊子は、未来を担う子どもたちに、地域のつながりの大切さを知っていただき、将来にわたって地域を愛し、お互いに助け合い、支え合う心を育んでいただくため、また、保護者の皆様にも、改めてその重要性をご確認いただく機会とするために作成しました。

この冊子をきっかけに、地域のつながりの大切さについて、ご家庭でも、ご家族のみなさんが話し合っていたただけますことを願っています。

「地域」って…？

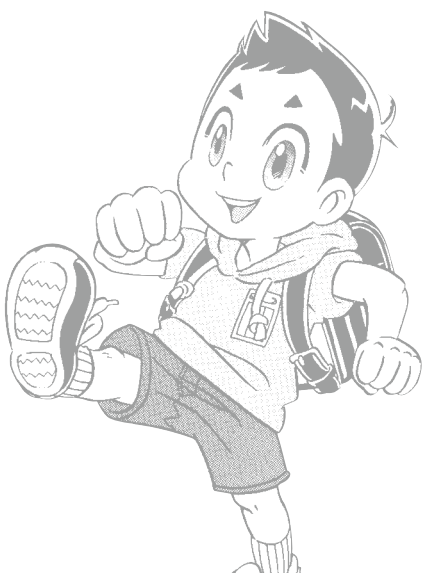
初版 平成25年3月31日
改訂版 平成26年8月31日

●発行 京都市文化市民局地域自治推進室

●マンガ作画 高橋玲香

●編集・制作 京都精華大学

京都国際マンガミュージアム事業推進室



応募作品 2,081 点の中からロゴマークができました！

地域における人と人とのつながりの大切さを理解していただき、力を合わせて地域コミュニティを活性化していただく気運を高めるため、平成25年12月にロゴマークを募集しました。その結果、一般枠（高校生以上）で326点、未来枠（小中学生）で1,755点のご応募をいただきました。

その中から、市民投票などにより、5作品を「京都市地域コミュニティ活性化ロゴマーク」に選びました。

ロゴマークは、以下のホームページ「自治会・町内会&NPO おうえんポータルサイト」から入手できます。地域の自治会・町内会などの広報物にもご自由にお使いいただけますので、ぜひご活用ください！

http://www5.city.kyoto.jp/chiiki-npo/jichikai/j_community/j_community5.php

京都市 自治会 おうえん

検索

<一般枠>



作者からのコメント

地域住民の方々に「京」の文字で表し、みんなで手をつなぎ、組体操の扇型を作って、バランスを保っています。「みんなで力を合わせて支え合おう」という意味です。冠帽子をかぶっているのは、なんとなく京都っぴいからです。「古都の時代から明るい未来へ、力を合わせてつないで行こう!!」というイメージです。

小中学生が作ったロゴマーク（未来枠）です！



「地域の絆」や「地域の力」と聞いて最初に思いついたのが、「輪」というフレーズで、地域のつながりを1本のリボン（ひも）で表現してみました。このリボンはまだとぎれていなくて、これは地域の絆がどこまでも広がっていていることを示しています。中のハートは、このリボンをつかむ手と手によってうまれた絆と笑顔を表しています。（京都市立月輪中学校3年生の作品）



題名は「京都の町 ハートの町」です。このマークにしたわけは、町の一人一人みんなが仲よくしてほしく、未来の京都があかるくなってほしいからです。（京都市立常磐野小学校4年生の作品）



みんなが手をとりあって、なかよく京都をまもる。
（京都教育大学附属京都小中学校2年生の作品）



テーマが「地域コミュニティ活性化」なので、「ちいき」という文字を使った。また、分かりやすいようにシンプルな顔にした。愛嬌を出すために、ほっぺたもつけた。（京都市立京都御池中学校1年生の作品）

